

TIP IN 8 presents 犬式 LIVE

@ CLUB METRO

1人の男+αを起点に広がる 京都レゲエ文化が牽引するもの

京都レゲエ文化を創成した酒場といえば、今宵の会場「METRO」創始者・ニックさんが'86年に始めた「Rub A Dub」。そして'90年オープンの「中川酒店」の二大看板だ。今回は後者の店主・エディさんが同業&ザコ寝仲間であるバー「FUNKY SODA」「FUNKY GIRL」「Sugar Trip」、美容室「COCOTEA」を巻き込んだイベントである。会場を縦横無尽に動き周り、アーティスト、そうじゃない人、常連客、そうじゃない人…、誰彼となく声を掛け回っていたエディさん。それは「人を楽しませたい、幸せにしたい(自分もね)」と願うラスタマン的精神であり、集まったのはそんな彼の心意気に惚れた人々と言える。

出演者は吉祥寺発のレゲエ・パンクバンド「犬式」、京都拠点のダブ・ルーツシンガー「SHANDI-I」、シンガーソングライター「Keyco」などラスタスピリッツな面々で、中でも「犬式」は、仲間の宴のようなピースフルかつ熱意みなぎる好演。

一方、レゲエイベントなのにメンノン系？ あれ？ ロック少女系？ ってな「レゲエはよくわからんけど、酒場の延長で来た」人も。人種・趣味など無問題で抱き込んで「Bless Up！」が結実した一夜。「不況？ それか？」なピースフルさが、今後のテーマ、かも。

「クリスマスといえばマライヤじゃなくて、ホアダムス、そう言ってしまえる京都の音楽酒場をみんなで支えていきましょう！」と主催者への激励も送った「犬式」



1. イベントの企画主要人物、左から「中川酒店」オーナー・エディ中川さんと「FUNKY SODA」の微笑み王子こと小林健二さん、「COCOTEA」の山本辰夫さん 2. 「お客さん多いね！明日は仕事やけど、いっぱい飲んだよー」と27時の地下室を謳歌したご様子。「中川酒店」の常連、映像カメラマンの米田さん(右)と製菓会社勤務の通称・いずみ薬品さん 3. 「今日は仕事を忘れて飲みます！(笑)」とハイテンションなチーム「FUNKY GIRL」。左からやーこさん、ふみよさん、けいこさん。当日はサブの酒販売スペースも登場し、アルコール消費量は凄まじいものに 4. イベント最中の日を越えた瞬間に誕生日を迎えた五衛門さん(前列左)とパワー漲る仲間たち。「エディさんとはスノーボード友達」とは、三条富小路「☆CHICKENNOT」のオーナー・タイトウさん 5. 「中川酒店さんにはお世話になったりなられたり」と語るの、レゲエ愛好家で鍼灸師の出野さん(左)。飲み友達で漫画家として活動する荒本さんと自由人のフツタンさんとともに終始ゴキゲンに 6. 音楽好きの間では「伝説」とも言われる「METRO」の創始者・ニックさん(右奥)も駆けつけた。京都の音楽カルチャーを培ってきた重鎮の登場でエディさんの喜びもひとしお